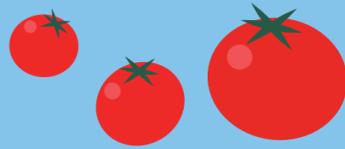




Hokkaido Cross Talk VOL.1

農業を支える担い手



JAバンク マスコットキャラクター

ほっぺに幸せを貯める、貯金が大好きなリス

ちょリス



©ちょリス

JAバンク北海道

北海道の「食」と「農」に、「未来」を実らせたい

北海道農業の発展と地域経済への貢献をモットーに、地域密着型金融の推進に取り組んできたJAバンク北海道。

「食」と「農」を支えるための様々な取り組みについて JA北海道信連の佐藤彰会長にお話を伺いました。



GPS搭載の自動走行トラクター

総合的な支援で北海道を支えるJAグループ北海道

—日本の食料自給率(カロリーベース)は1960年代の79%が2016年度で38%に低下しました。コメの消費の減少やパン食の広がり、農業者の高齢化の進行など農業生産基盤の弱体化が主因とされ、先進国では最低水準です。一方で、北海道の17年度の食料自給率は221%。日本の食料生産基地として誇っている数字ですね。

佐藤 今、日本は食べ物の約6割を外国に頼っている状況ということです。中長期的視点に立てば、世界は人口増加などで食料需給が逼迫(ひっばく)する恐れもあります。食料自給率はそうした中で、生きていくのに必要な食料をどれだけ自力で手に入れることができるのかを示す目安ですから、これは軽視できない課題です。

日本の農地面積の約4分の1を有する北海道は、最重要の食料生産基地、最後の砦(とりで)です。今後も、食料の国内生産の維持増大や持続的な農業の発展のために求められる役割は大きいです。

—JAグループ北海道は「耕そう、大地と地域の暮らし」をキャッチフレーズに、組合員の所得向上と地域の活性化に向けたさまざまな取り組みを行っています。

佐藤 われわれJAグループ北海道は1948(昭和23)年の設立以来、北海道農業の発展と農家経済の向上を目指し、さまざまな角度から組合員や地域の皆さんの生活をサポートしてきました。生産者の営農と生活を守り高めることは、北海道の「食」と「農」を支えることに直結しています。この目的のために、JAグループ北海道の一員として、JAバンク北海道は、金融面でいろいろなサポートにかかわっています。

—JAバンク北海道では金融面でどんなサポートをしているんですか。

佐藤 組合員、地域農業の振興のために、JAグループが

一体となり総合的な支援を行っており、の中でJAバンク北海道は金融面などでサポートを行っています。

—「総合的な支援」とはどのようなものですか。

佐藤 地域の農業者の多くは地元JAの組合員です。JAは組合員一人ひとりの営農生活の向上を図ることを目的とした協同組合の理念のもと、経営内容や経営規模にかかわらず、すべての組合員をサポートしています。

将来に向けた経営のあり方をしっかりと見据えた中で、組合員との営農協議を通じて、技術面からの営農指導や生産物の共同販売、営農に必要な資材(機械や肥料、飼料)の提供、信用(金融)、共済(保険)、健康管理などの生活面からの支援など、組合員の生活向上のため総合的なサポートを行っています。

—具体例を挙げていただけますか?

佐藤 例えば、農家1戸が作っている農産物も、共同で集めてロットを大きくし、まとめて市場などに出荷すれば有利な条件で販売できます。それは農家所得の向上や食料の安定供給にもつながります。このような取り組みの中で、金融面でサポートしているのがJAバンク北海道です。

—金融面でのサポートについてもう少し詳しく教えてください。

佐藤 農業資金の貸し出しにおけるJAバンク北海道の道内シェアは8割程度に上ります。

例えば、稲作・畑作農家だと播種(はしゅ)から収穫まで長期間を要し、収穫後の販売までは所得が得られません。その間にかかる種子、肥料、資材など年間の営農に必要な費用を支援します。また、中長期的には、機械や施設の更新、規模拡大に向けての投資などにかかる金融支援を行っています。そのほか、自然災害時の金融支援や、農業法人などへの税務・労務を中心とした経営コンサルティングなど、さまざまな場面におけるサポートを実施しています。

農業所得の増大と新規担い手倍増を目指して

—現在、日本の農業にはどんな課題がありますか。

佐藤 道内の農業の担い手は、00年の約6万4,700戸から16年には3万9,700戸にまで減少しています。農業従事者の減少や高齢化の進展により、地域における農業基盤の維持が課題となっています。

JAグループ北海道では、北海道550万人と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」の実現を目指し、グループを挙げて取り組んでいるところで。北海道の基幹産業である農業が、日本の食料基地を担っていくためには、農家が安心して農業を営み、後継者を育てられる仕組みを作っていく必要があります。19年度までに道内の農業所得を現状より20%引き上げること、農業の新規担い手の倍増を目指しています。

—日本の食と農を守っていくためには、重要な取り組みですね。

佐藤 16年度から、JAグループ北海道では「担い手確保・育成支援事業」をはじめとしています。

担い手確保支援では、農家の後継者、農業以外からの新規就農者、既に就農している生産者のそれぞれを対象に、各地域の担い手を確保するための支援プログラムを実施しています。例えば、後継者向けには、農家の親元に戻って就農する場合、規模拡大に向けた設備投資費用を支援しています。新規就農者向けには、地域農協などが実施する研修や受け入れ農家とのマッチングなどの参加費を支援しています。各プログラムの実施などを通じて、16年は新規就農者数を566人確保し、新規就農者の拡大につながっています。

—働きやすい環境づくりも進めていく必要があります。

佐藤 若者や女性が輝けば、農業も地域も元気になります。その一助になればと、ロボット技術の導入などにより生産性の向上・所得向上を図り、多様な人材が活躍

できる職場・環境づくりを推進・サポートしています。例えば、トラクターのGPSガイダンス・自動操舵(そうだ)装置の導入などに対し、費用支援を行っています。

—豊かな魅力ある農村の実現に向けた活動についても教えてください。

佐藤 組合員や地域住民が暮らすために必要な生活基盤の維持・発展に向けて、JAグループがその一翼を担っていきたくと思っています。健全な食と農を次世代につなげることを目指した食農教育(収穫体験、料理教室、小学校への教材本の贈呈)などの活動を行っています。

また、一人でも多くの道民の皆さんに、JAグループ北海道の事業や活動に参加していただけるよう、「道民と食と農でつながるサポーター550万人づくり」を全道運動として展開しているところで。



親子を対象にした収穫体験

食料基地北海道を金融面から支え、地域を元気にしたい

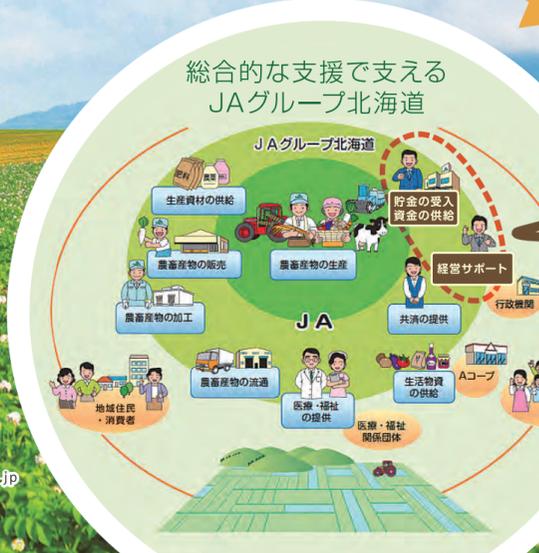
—最後に今後の展望をお聞かせください。

佐藤 現在、格差社会の拡大や地域経済の疲弊に拍車がかかっています。また、TPPや日欧EPAの国内農業への影響も大変心配しております。北海道の農業・農村にかかる課題も多くありますが、地域に根ざした組織としてJAグループ北海道に求められる役割はますます大きくなると予想されます。

北海道は日本を代表する食料基地だけに、農業に従事する人たちの思い入れも強いです。だからこそ、この北海道の基幹産業を金融面で支え、地域を元気にしたい。地域の皆さんに、より一層必要とされる存在でありたい。それが私の一番の思いです。

その中でJAバンク北海道は

- 農業者への金融面での支援
 - ・年間の必要な資金
 - ・機械や施設の更新、規模拡大への投資に必要な資金
 - ・後継者、新規就農者への支援
 - ・自然災害時の支援
- 税務・労務などの経営コンサルティング等で支援を行っています。



佐藤 彰氏

JA北海道信連 経営管理委員会 会長

さらに詳しい内容は JAバンク北海道のホームページをご覧ください。



<http://www.jabank-hokkaido.or.jp>

VOL.2は3月24日(土)朝刊に掲載予定です。

Hokkaido Cross Talk

企画制作/北海道新聞社営業局



聞き手 南出 裕

北海道新聞社 常務取締役



Hokkaido
Cross
Talk
VOL.2

JAバンク北海道

教えて！ JAバンクって何？



聞き手
青山千景さん
フリーアナウンサー
北海道観光大使



INTERVIEW
安友 薫氏

JA北海道信連
代表理事 理事長

女優の松下奈緒さんと、ふくふくとしたほっぺが印象的なリスのキャラクター

「ちょリス」のCMでおなじみのJAバンク。

「JAバンクって農業をしている人しか利用できないんでしょ?」。そう思っている人も多いかもしれません。けれど、実はJAバンクは地域みんなの金融機関。農業をしている人もそうでない人も利用できるんです。

「JAバンクってどんな金融機関なの?」「どんなサービスを提供しているの?」。

札幌を拠点に活動するフリーアナウンサーの青山千景(ちかげ)さんが、JA北海道信連の安友薫理事長に、JAバンクに関する素朴な疑問をぶつけてみました。

JAって何をしていますの?

青山 今日は、JAバンクってどんなところなのかいろいろお聞きしたいと思っています。ものすごく基本的なことからお尋ねしますが、よく耳にする「JA」という名称、これはどういう意味なのでしょう?

安友 JAは「Japan Agricultural Cooperatives (ジャパン・アグリカルチュラル・コーポラティブス)」の頭文字で、日本語にすると農業協同組合(農協)のことです。

青山 農協のニックネームがJAなんですね。JAについてもう少し詳しく教えてください。

安友 ちょっと難しいかもしれませんが、JAは「株式会社」とも行政など「公的機関」とも異なる「協同組合」という組織です。協同組合では、参加するメンバーが手を取り合って助けあい、力を合わせて経営や生活を向上する取り組みを行っています。

JAが大切にしているのは、農業の生産力を高め農業所得を向上させること、地域の農業を発展させること、農村の暮らしや農業がつくる景観を守ること、安心・安全な食料を安定的に供給することなど、広い意味で「農」と「食」を支え、豊かで暮らしやすい地域社会を実現することです。

青山 具体的にはどんな活動を行っていますか?

安友 全国各々のJAが多様な農業・地域の実態に応じて、さまざまな事業や活動を通じて地域の農業や生活を支援しています。例えば、生活必需品の販売(Aコープなど)やガソリンスタンドなど地域に欠かせないインフラの提供、医療機関の運営(厚生病院)のほか、営農・生活指導、高齢者福祉、旅行など幅広い事業を行っています。

私たちJAバンクは、それらの事業・活動の中で、「お金」という面から地域の皆さんの今と将来の暮らしを支える役割を担っています。

JAバンクってどんな金融機関?

青山 「バンク」ということは銀行ですよね?JAバンクってどんな銀行、金融機関なのですか?

安友 「JAバンク=農業関係者の金融機関」と思っている方も多いかもしれませんが、実際は農業関係者でなくてもご利用いただける金融機関なんです。

JAバンクは全国で約7,000店舗、道内で約280店舗の民間最大級の店舗網を持った金融機関です。貯金額は全国で約100兆円と、日本のメガバンクに匹敵します。北海道では約3兆5千億円です。その幅広いネットワークと総合力を最大限に活かして、利用者の皆さんに利便性の高い金融サービスを提供しています。

青山 農業をしていない人でも利用できるんですね。JAバンクを利用すると「こんないいことがある」というものがあれば教えてください。

安友 まず、JAバンクのキャッシュカードの使い勝手の良さをお伝えしたいですね。全国のJAバンクのATMはもちろん、コンビニ(セブンイレブン、ファミリーマート、ローソンなど)、ゆうちょ銀行、三菱東京UFJ銀行、JFマリンバンクなどの提携ATMについても、平日日中の手数料が無料でご利用できます。^{※1}

青山 コンビニATMで手数料無料なんですか!?それは知らなかったです。ずっと使い続けることを考えると、ものすごくおトクだと思います。道内だけでなく道外でも利用できるというのは、旅行や出張の時でも安心ですね。

安友 JAバンクならではの特典があるクレジットカード

(JAカード)も発行しています。JAのガソリンスタンド(ホクレンサービスステーション)でJAカードを使用すると、ガソリンが2円/ℓ割引で給油できます。^{※2}

また、JAの農産物直売所でJAカードを使用すると、購入額の5%割引でお買い物いただけます。^{※3} 地元の新鮮でおいしい農産物がお買い得で、さらには割引にもなるとご好評をいただいています。

JAカードをご利用いただけて貯まったポイントは、全国各地の特産品・農畜産物などと交換できることもお伝えしたいです。

青山 ほかにどんなサービスがあるんですか?

安友 他の金融機関と同じように定期貯金や定期積金等の貯金商品、ネットバンク、住宅・マイカー・教育・カードなどの各種ローンも取り扱っており、ライフイベントやライフプランに合わせてご利用いただければと思います。高齢者向けには、専門の知識を持った職員が、年金の面倒な申請手続きや記録漏れの調査のお手伝い、資産形成・相続などの相談もお受けしています。

2017年4月には、道内金融機関として初めて、近くに金融店舗がない方々のためにJAバンクの窓口機能を持つ移動店舗車を、JA新はこだてとJAオロロンの2カ所に導入しました。そのほか、地元スポーツ支援の一環として、北海道コンサドーレ札幌の通帳も発行しており、サポーターをはじめ多くの方にご利用いただいています。

JAバンクは食育にも取り組んでいるんですね

青山 JAバンクでは、食や農業に関連した取り組みも行っていると聞いたことがあります。

安友 子どもたちが食や農業への理解を深めるきっかけにしてほしいと、毎年全道の小学校5年生に、農業と私たちの暮らしを題材にした教育用補助教材

を寄贈しています。自然を生かした日本の農業の特徴をはじめ、米や野菜、果物の生産から流通の過程などをイラストや写真、グラフなどを使い分かりやすく解説したものです。

また、子どもたちに自分で料理をする楽しさや道産食材の良さを知ってもらおうと、小学生の親子を対象にした料理教室を開催しているほか、全道各地のJAや農業者が子どもたち向けに収穫体験も行っています。

青山 JAバンクといえば、CMでよく見る「ちょリス」を思い浮かべる人も多いと思います。私の周りにもファンが多いんですよ。

安友 ありがとうございます。女性ファンが増えるちょリスも喜びます(笑)。JAバンクのCMでは、現在公式キャラクターの「ちょリス」と女優の松下奈緒さんが共演しています。ちょリスは、オフィシャルサイト(<http://choris.jp/>)でキレイのあるダンスも披露していますし、さまざまなイベントにも登場し、子どもたちや女性に人気を集めているようですね(笑)。ちょリスの存在が、JAバンクに親しみを持ってもらえるきっかけとなればうれしいです。

青山 最後に、読者にメッセージをお願いします。

安友 日本の食料自給率が38%と低く、北海道は200%を超えています。北海道の農畜産物は、北海道の人口500万人余の倍、1000万人もの食を支える重要な役割を担っており、JAグループ北海道はこれからも、日本の食料を支える北海道農業をしっかり支えていかなければならないと考えています。

JAバンクが目指すのは、地域の皆さんから身近に感じてもらって、頼りにされるメインバンクになることです。引き続き皆さんからお預かりした貯金を「農業」「食」「地域」の豊かさのために活用できるよう、日々取り組んでまいります。

※1 詳しくは、JAバンク北海道のホームページをご確認ください。
※2 サービスの内容は変更になる場合がございます。
※3 現在、「愛菜屋」(芽室町)、「くるの杜(もり)」(北広島市)、「あぐりへい屋」(北斗市)、「北欧の風道の駅とうべつ」(当別町)、「地物市場とれのさと」(石狩市)の5カ所で割引が受けられます。

JAバンクって
身近な金融機関
なんですね!



北海道コンサドーレ札幌
通帳



移動店舗車
上ノ国町・羽幌町・初山別村・遠別町
を巡回しています。

JAバンクやちょリスについての詳しい情報はホームページをチェック!

JAバンク北海道 検索

<http://www.jabank-hokkaido.or.jp>

ちょリスの画像が検索できます。

ちょリス 検索

<https://choris.jp>

お近くのJAのATMや直売所を検索できます。



JAグループ北海道のスマホアプリ
JA2MP(ジェイエイジエム)



JAバンク
マスコットキャラクター
ほっぺに幸せを貯める、
貯金大好きなリス

ちょリス

©ちょリス